

反射テスト ベクトル ベクトル方程式 直線 02

1. 次のベクトル方程式が表す図形を例にならって示せ. どの図形においても定点 A, B, 動点 P の位置ベクトルをそれぞれ \vec{a} , \vec{b} , \vec{p} とする. ただし原点は O とし, その位置ベクトルは $\vec{0}$ とする. (S 級 1 分, A 級 2 分 30 秒, B 級 4 分, C 級 6 分)

例 1 実数 t に対して, $\vec{p} = (1-t)\vec{a} + t\vec{b} \Rightarrow$ 直線 AB

例 2 実数 t に対して, $\vec{p} = \vec{a} + t\vec{b} \Rightarrow$ 点 A を通って直線 OB に平行な直線

例 3 $(\vec{p} - \vec{a}) \cdot \vec{b} = 0 \Rightarrow$ 点 A を通って直線 OB に垂直な直線

(1) 実数 $0 \leq t \leq 1$ に対して, $\vec{p} = (1-t)\vec{a} + t\vec{b}$

(2) $\vec{p} \cdot (\vec{a} - \vec{b}) = 0$

(3) $\vec{p} = t(\vec{a} + \vec{b})$ (ただし t は実数)

2. 次のベクトル方程式が表す図形を例にならって示せ. どの図形においても定点 A, B, 動点 P の位置ベクトルをそれぞれ \vec{a} , \vec{b} , \vec{p} とする. ただし原点は O とし, その位置ベクトルは $\vec{0}$ とする. (S 級 1 分, A 級 2 分 30 秒, B 級 4 分, C 級 6 分)

例 1 実数 t に対して, $\vec{p} = (1-t)\vec{a} + t\vec{b} \Rightarrow$ **直線 AB**

例 2 実数 t に対して, $\vec{p} = \vec{a} + t\vec{b} \Rightarrow$ **点 A を通って直線 OB に平行な直線**

例 3 $(\vec{p} - \vec{a}) \cdot \vec{b} = 0 \Rightarrow$ **点 A を通って直線 OB に垂直な直線**

(1) 実数 $t \leq 1$ に対して, $\vec{p} = (1-t)\vec{a} + t\vec{b}$

(2) $|\vec{p} - \vec{a}| = |\vec{p} - \vec{b}|$

(3) $\vec{p} = t \left(\frac{\vec{a}}{|\vec{a}|} + \frac{\vec{b}}{|\vec{b}|} \right)$ (ただし t は実数)

反射テスト ベクトル ベクトル方程式 直線 02 解答解説

1. 次のベクトル方程式が表す図形を例にならって示せ. どの図形においても定点 A, B, 動点 P の位置ベクトルをそれぞれ \vec{a} , \vec{b} , \vec{p} とする. ただし原点は O とし, その位置ベクトルは $\vec{0}$ とする. (S 級 1 分, A 級 2 分 30 秒, B 級 4 分, C 級 6 分)

例 1 実数 t に対して, $\vec{p} = (1-t)\vec{a} + t\vec{b} \Rightarrow$ 直線 AB

例 2 実数 t に対して, $\vec{p} = \vec{a} + t\vec{b} \Rightarrow$ 点 A を通って直線 OB に平行な直線

例 3 $(\vec{p} - \vec{a}) \cdot \vec{b} = 0 \Rightarrow$ 点 A を通って直線 OB に垂直な直線

★ベクトル方程式 (直線)

ある実数 t を用いて, 直線 AB 上の動点 P を表すベクトル方程式は, $\vec{p} = (1-t)\vec{a} + t\vec{b}$

ある実数 t を用いて, 定点 A を通り, 方向ベクトル \vec{e} である直線上の動点 P を表すベクトル方程式は, $\vec{p} = \vec{a} + t\vec{e}$

(1) 実数 $0 \leq t \leq 1$ に対して, $\vec{p} = (1-t)\vec{a} + t\vec{b}$

$$t = 0 \text{ のとき, } \vec{p} = \vec{a}$$

$$t = 1 \text{ のとき, } \vec{p} = \vec{b}$$

\therefore 線分 AB …答え

(2) $\vec{p} \cdot (\vec{a} - \vec{b}) = 0$

$$\Leftrightarrow (\vec{p} - \vec{0}) \cdot (\vec{a} - \vec{b}) = 0$$

直線 PO と直線 AB が直交するから, 直線 AB と垂直で原点を通る直線 …答え

(3) $\vec{p} = t(\vec{a} + \vec{b})$ (ただし t は実数)

点 C の位置ベクトルを \vec{c} とし, $\vec{c} = \vec{a} + \vec{b}$ とすると,

四角形 OACB は平行四辺形であり, 直線 OP はその対角線 OC と一致するから,

\therefore 原点と線分 AB の中点を結ぶ直線 …答え

\therefore 点 O を通る, $\triangle OAB$ の中線 …答え

2. 次のベクトル方程式が表す図形を例にならって示せ. どの図形においても定点 A, B, 動点 P の位置ベクトルをそれぞれ \vec{a} , \vec{b} , \vec{p} とする. ただし原点は O とし, その位置ベクトルは $\vec{0}$ とする. (S 級 1 分, A 級 2 分 30 秒, B 級 4 分, C 級 6 分)

例 1 実数 t に対して, $\vec{p} = (1-t)\vec{a} + t\vec{b} \Rightarrow$ 直線 AB

例 2 実数 t に対して, $\vec{p} = \vec{a} + t\vec{b} \Rightarrow$ 点 A を通って直線 OB に平行な直線

例 3 $(\vec{p} - \vec{a}) \cdot \vec{b} = 0 \Rightarrow$ 点 A を通って直線 OB に垂直な直線

(1) 実数 $t \leq 1$ に対して, $\vec{p} = (1-t)\vec{a} + t\vec{b}$

$t = 1$ のとき, $\vec{p} = \vec{b}$

\therefore 半直線 BA …答え

☆ $0 \leq t$ であれば半直線 AB である.

☆ 向きがわかりにくいのであれば, $\vec{a} = \vec{0}$ を代入して図示してみよう. 点 A を原点に見立ててみれば, 半直線のイメージがわかると思う.

(2) $|\vec{p} - \vec{a}| = |\vec{p} - \vec{b}|$

$\Leftrightarrow PA = PB$

線分 AB の垂直二等分線 …答え

(3) $\vec{p} = t \left(\frac{\vec{a}}{|\vec{a}|} + \frac{\vec{b}}{|\vec{b}|} \right)$ (ただし t は実数)

$\frac{\vec{a}}{|\vec{a}|}, \frac{\vec{b}}{|\vec{b}|}$ は単位ベクトルであるから,

点 C の位置ベクトルを \vec{c} とし, $\vec{c} = \frac{\vec{a}}{|\vec{a}|} + \frac{\vec{b}}{|\vec{b}|}$ とすると,

直線 OC はひし形 OACB の対角線と一致する.

\therefore $\angle AOB$ の二等分線 …答え

☆ 平行, 垂直, 中線, 二等分線などの表記を覚えておくのもいいだろう. ただし機械的に覚えるのではなく, イメージで覚えよう.